

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100534
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 中山
所在地	鹿児島県鹿児島市中山町1233番地4 (電話) 099-269-7076
自己評価作成日	平成27年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

心身穏やかな毎日を過ごしていただける様に家族のように寄り添い、人としての尊厳と活力の向上を大切にしています。共同生活の中で、「出来ること」「出来ないこと」を見つけ、出来ない部分をスタッフがお手伝いをし、生活されている入居者様と協働しながら楽しく毎日を過ごしています。毎日の生活の中で、食事を美味しく頂くための口腔体操や訪問歯科を活用。また、健康の維持のための定期的な病院受診の付き添いや訪問リハ・マッサージ・フットケア等を活用し行っています。年間を通して季節を感じられる行事、「お花見」や「夏祭り」「餅つき」など行っています。行事には、地区行事参加やボランティアを活用したりと地域資源を活かし、ホームの生活に変化をつけ充実した飽きの来ない生活を送れるようにスタッフ一同工夫しております。ホームの周りには田園風景が広がり、草木などの豊かな自然から四季を感じることができます。近所には、交番、スーパー、クリニック、公民館があり非常に生活しやすい環境が整っています。内部研修や外部研修に参加し入居者様の急変時の対応方法や認知症介護について理解を深めております。また、消防局災害時の避難方法等を実際に行いながら実践。家庭的な雰囲気の中で、入居者様は生き生きと生活されております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

- ・当ホームは自治会に加入し、地域行事に積極的に参加したり、事業所の防災訓練や行事には多くの地域住民が参加し、認知症の相談を気軽にする等、日常的に交流している。隣接して4月に保育園がオープンする計画である。
- ・運営推進会議に家族の参加が多く、家族会へと繋げている。
- ・多方面にわたる研修等を計画し、充実させる方向である。
- ・個々の利用者の生活歴や思いを把握し、力量に応じてその人らしい生活ができるように支援している。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員育成に力を入れ資格取得を支援している。福利厚生が充実し、産休制度もあり、離職者は少ない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>入居者様と家族の思いを尊重、自立支援、食事の工夫、地域交流を中心とした理念を掲げ、毎朝唱和することと共に、1年に一度振り返り実践できるように意識づけをしている。</p>	<p>設立当初の理念を職員で見直した独自の理念を、玄関やパンフレット類に掲示している。毎朝唱和し、理念の共有と実践を図っている。年度ごとに振り返り検討している。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の行事に参加したり、散歩や買い物、外食等を通じ外出時に交流が持てるように心がけている。</p>	<p>町内会に加入し地域と情報のやり取りがある。地域行事の運動会などには積極的に参加し、散歩や買い物際には挨拶や会話を交わしている。事業所の行事の餅つき会などには家族や地域住民の参加がある。中高生の職場体験学習やボランティアの受け入れなども行っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>買い物や地域行事等の外出した時、地域の方々に認知症の方への配慮をしていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一回運営推進会議を開催し、家族や、民生委員に出席いただき、ホームでの活動報告、研修報告など様々な話し合いを行い、意見をいただいている。地域包括支援センターの方の都合が付かず参加が少ない。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告を行い、意見交換をしている。今後、腰痛予防、心肺蘇生、介護保険と認知症について等、テーマを決めて話し合う計画で、出された意見や要望は職員で共有して日々のサービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎月、地域包括支援センター、民生委員へホーム発行の新聞を郵送している。また運営推進会議へ出席してもらい、意見をいただいている。</p>	<p>市や地域包括支援センターへホームの新聞を毎月届けて、情報交換を行い、アドバイスを求めている。運営推進会議を通して実情を相談したり、協力関係ができています。介護相談員も受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月、職員会議の際に身体拘束廃止委員会を開催し、日々のケアの振り返りを行っている。内部研修を通して職員一人ひとりが身体拘束についての理解をしている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設け、マニュアルを基本に研修会を実施している。職員の共通認識を図り、日々のケアを振り返り、身体拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認している。昼間は玄関の施錠はせずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎月、職員会議の際に高齢者虐待委員会を開催し、日々のケアの中に言葉による虐待等ないか確認を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度の外部研修に参加し、学ぶ機会を設けている。必要のある方がいらっしゃった場合は活用できるように支援を行う。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は時間をかけて説明を行っている。ご家族に対して、重要事項説明書及び契約書の一項目ずつ質問等ないか読み合わせし確認を取っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様、ご家族から意見、要望をもらえる体制として、出入口への意見箱の設置、相談苦情受付者の電話番号の掲示、運営推進会議の開催を行っている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で思いを聞いている。家族からは面会時や電話・アンケート・運営推進会議参加時等に意見や要望を聞いている。家族の意見で、送迎バスを利用できる外食先の情報を得て、外食プラン作成に反映させた。意見箱も設置してある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議や個別に職員の意見を聞く機会を作り、管理者が代表者に伝え、反映できる体制がある。</p>	<p>管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションを図り、心身の健康について気配りをしている。申し送りや会議等で意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。相談は個別に聞き適切にアドバイスをして、意見を運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人ひとりのニーズに応えられるようなシフトの調整、資格による手当、他の介護施設での研修等、向上心や、やりがいを持つように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員個々が自己研鑽できるように、研修の情報提供をし、希望者には参加してもらい、内部研修で報告し実践できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>系列のグループホームへの助勢に行ったり。合同の忘年会で情報交換や合同の勉強会を行っている。病院、グループホーム、特養の方とスポーツ交流をしているスタッフもいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に家族や関係者から情報を提供していただき、本人、家族と一緒に話し、見学をしていただいている。他の入居者様とも交流していただき雰囲気味わってもらっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人、家族の心配事や意向を聞き、ケアの方向や面会の頻度等、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の必要としているサービスを見極め、往診、訪問マッサージ等の利用等を含めた対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事等（洗濯物たたみ、洗濯物干し、食材の下ごしらえ）を職員と一緒にし、話をしながら様々なことを教わっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族が来訪した際は、本人の近況の報告を行っている。運営推進会議や行事に参加していただき、共に本人を支えあっていたでいる。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や知人との電話や手紙のやり取りができており、来訪の際は居室等でゆっくり談笑していただけるように支援している。</p>	<p>家族や親族の面会が多く、電話や手紙の取次ぎなども行い、馴染みの人との関係を継続できるよう働きかけている。家族の協力で理・美容院の利用や外出、外食、墓参などを支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士でのトラブルがおきないように、座席の配置に気を配り、職員が間に入って会話をしたりして支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了しても、関係が断ち切れないように、困りごとがないかの連絡をとったり、他施設、病院へ面会に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思を伝えることができる方は、本人の意向に沿って生活していただいている。意思疎通が困難な方は、家族と職員で情報を共有し、本人が本人らしく生活ができるようにしている。	家族からの情報を得ながら、日々の関わりの中で本人の希望を聞いたり、表情や言葉などから思いや意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、職員間で話し合い、利用者本位の支援に結びつくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式等を利用し、家族や関係者から情報をもらっているが、曖昧な部分もある。本人との会話の中で、これまでの生活暦の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のサービス記録、日誌、病院受診記録をとり、現状の状況の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者を中心に、日常生活で出た課題を本人、家族、職員で意見を出して検討し、本人の意向に沿った介護計画が作れるようにしている。	本人や家族・関係者の意向を確認し、担当者会議で話し合い、主治医の意見も取り入れ個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のサービス記録、日誌の活用や申し送りで情報を共有し、モニタリングに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ミーティング時や申し送り時に、必要に応じて入居者様個別の話し合いをしており、ニーズへの対応を検討、実践している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の行事を把握して参加したり、ホーム内外での行事でボランティアによるイベントを楽しんでいる。入居者様も一緒にできるように配慮している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に家族と相談の上、かかりつけ医を決め、月一回の受診を行い、特変、不調時にはその都度受診を行い家族への連絡、報告を行っている。</p>	<p>入居時にかかりつけ医を確認し、定期的な受診や通院介助を支援している。受診結果は家族と事業所が共有している。緊急時の対応などには連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>怪我やバイタルサインの異常時には、ホーム内の看護師や主治医に指示を仰ぎ、状況に合わせて病院受診を行う等して支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の医療機関へホームでの身体状況の報告を行い、定期的に入院先へ面会に行き、本人との面会や病院での近況報告をもらい早期退院を目指している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に現在の看取りの指針の説明を行い。本人や家族、主治医と相談を行い終末期のあり方について考えている。家族や医師にホームで出来ること出来ない事を理解して頂き終末期のあり方について今後も本人や家族と密に相談をし支援していく必要がある。</p>	<p>入居時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意を得ている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故が起きないように日々最新の注意を払い介護に従事している。又、緊急時対応等、研修を行い実践できるよう個々でも訓練や勉強会をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て、年2回昼夜想定で防災・地震訓練を行っている。ミーティングでの話し合いも行う。職員、地域住民、家族への緊急時の応援の協力を得ている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定で避難訓練を実施している。訓練には運営推進会議の参加者や地域住民・家族の協力がある。玄関の1箇所に緊急時の必要書類や防災グッズ、災害時の水や食料・オムツ等の備蓄が揃えてある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	記録物には本人以外はイニシャルを使用し、声かけの際は声の大きさ、内容に注意して自尊心を傷つけないように配慮している。	利用者の尊厳やプライバシーに配慮しながら声かけや対応に留意している。定期的に勉強会を実施し、職員の資質向上に取り組んでいる。入浴や排せつ介助時など羞恥心に対する配慮を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自己決定しやすい環境作り、声かけの工夫を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや家事・運動・外出等、本人のペースや希望に応じて行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪は訪問を利用しており、本人と顔なじみの美容師が会話できるように支援している。本人や家族の意向に沿った服装をしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の能力に応じて、準備、配膳、を職員と一緒にしている。また、個人の疾患や状態に合わせた食事形態で食べやすい食器を活用し提供している。	菜園で採った旬の野菜を食材にしたり、嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。買い物や準備・調理・後片づけを職員と一緒にしたりしている。誕生会や季節の行事食に好きな物を作ったり、外食に出かける等、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重増加傾向にある方は食事量の配慮を行い、食事・水分の摂取量の少ない方は代替品等で補う等工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを毎食後行い、必要に応じて歯科受診、往診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時は不安やプライバシーに配慮し、さりげない声かけの中で自立にむけた支援を行っている。	排泄パターンを把握し、時間毎の誘導や声かけの工夫でトイレでの排泄を大切にしている。夜間もおむつやポータブルトイレの利用者はいなく、パットとりハビリパンツで対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>個々の排泄のチェックを毎日行い、乳製品の摂取やオリゴ糖の活用や食事内容の工夫に取り組んでいる。また主治医に報告し下剤の調整行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>入浴は希望で毎日可能であるが体調や年齢を考えて入浴している。入居者様一人ひとりの能力に応じて二人介助や見守りを行いながら支援している。</p>	<p>個々人の体調や希望に添った入浴ができるように対応している。入浴を拒む人にも、時間調整や同性介助、声かけなどを工夫して状況改善に努めている。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>入居者様の個々の希望に応じて居室等で休んでいただいている。訴えることができない入居者様は、睡眠状況や疲労感を把握し個別に対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>受診後の処方について、朝・夕の申し送り時に報告をし、職員は入居者様のカルテを参照して薬の用法、用量、副作用を理解している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事（洗濯物たたみ・干し、食器洗い、調理、掃除）を中心に入居者様自ら協力できるように支援している。パチンコ台も貸し出している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩、行事での外出（遠足、外食、ドライブ等）を行っている。遠方への入居者様の外出希望の場合は家族に協力をいただいている。	日常的には買い物やドライブを楽しんでいる。計画を立てて花見やソーメン流しなど家族も一緒に出かけている。歩行困難な利用者がリフト車を利用して外出を支援している。家族の協力ですぐに外出や外食・外泊・墓参にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額のお預かり金があり、希望があれば職員と一緒に買い物に出かけている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族や知人からの電話や手紙のやり取りができており、希望に沿って本人自らも電話や手紙を書けるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が分かるような飾りつけや、季節の花を花瓶に挿すなど工夫をしている。入居者様が居心地良く生活できるように、室温、騒音、光に注意している。	共用の空間は換気や採光、湿度に配慮し清潔である。壁には行事の写真や作品などを貼付して生活感や季節感を採り入れている。窓からはビルや街風景が見え、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様個人の席があり、共用のソファや和室もあり、思い思いに過ごせるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や、身の回りの物、仏壇等を居室に持ち込んでもらい、本人が落ち着いて過ごしていただけるように工夫している。	居室はベッドとエアコンが備え付けである。家族と相談しながら仏壇やテレビ・タンス・三面鏡・椅子・時計・写真など、利用者が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置・表札やカウンターテーブルでの作業など、入居者様の身体状況に応じて、できるだけ自立した生活が送れるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない